



Vol.19

— 令和2年8月発行 —
烏川流域森林組合

発行責任者 代表理事組合長 市川平治
〒370-3402 群馬県高崎市倉渕町三ノ倉303
TEL 027-378-2030
印刷所 有限会社 榛 輝



ふるさとの
もり
森林を育てる

森林組合

主な内容

- ・ 組合長あいさつ
- ・ 第19回通常総代会開催報告
- ・ 役員紹介
- ・ 総代紹介
- ・ 事務局情報
- ・ 苗木注文

組合長あいさつ

代表理事組合長

市川 平治

「森だより」第十九号の発刊にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

先ず、世界中を震撼させている新型コロナウイルスの影響は、私たちにとって経験したことのない社会現象を現出させておりますが、関係者各位には、くれぐれも健康にご留意下さるよう祈念して已みません。

さて、多くの行事が延期や中止、規模縮小を迫られる中、当組合の「第十九回通常総代会」も総代各位に書面議決でのご協力をお願いし、規模縮小の上で六月二十五日に開催、無事に終了いたしました。

今回の総代会は、三年に一度の役員改選期にあたり、役員選挙（無投票）の結果、新たに理事十三名（内、新任五名）、監事三名が就任いたしました。

また、総代会後理事会において私が代表理事に指名して頂き、三期目の組合長を務めさせて頂

くことになりました。慢性的な林業不況に加え、混沌とした社会情勢の中ではありますが、林業が担うべき役割と森林組合に課せられた使命を果たすべく、全力で職務を遂行して参りたいと思っておりますので、関係者各位の一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。

さらに、役員人事では前専務理事の千明誠氏が勇退し、新たに塚本博夫専務理事が就任いたしました。

千明前専務は、群馬県庁を退職後五年間に亘って当組合の運営に尽力して下さいましたが、その間、高性能林業機械の導入や、県当局とのパイプを生かした積極的な事業展開を図り、経営の安定に大きく貢献されました。

新たに就任した塚本専務は、旧榛名町役場で森林組合担当を務めた後、商工観光課長・企画課長、合併後は高崎市で地域づくり推進課長、等を歴任いたしました。今年度から本格的に始動した森林環境税事業では、高崎市との綿密な連携が不可欠であり、幅広い行政経験を生かし

た新専務の手腕に期待したいと思えます。

ここで、昨年度の主な事業を振り返ってみたいと思いますが、先ず、組織変更についてご報告させていただきます。

当組合は従来、管理課・指導課・事業課の三課と作業班で構成されていましたが、令和元年十月から、作業班を廃して「森林整備課」といたしました。

これは、事務方と現場との障壁を無くし、同じ組合職員としての連帯感を深めることを目的としています。今後は、人事交流も含めて事務方職員と現場職員とが一体となり、円滑な事業推進を目指したいと思います。

次に、具体的な事業面では引き続き森林経営計画の策定に取り組み、二団地・五十九畝の計画を樹立しました。林産部門では、近年続けて導入した高性能林業機械をフルに活用し、素材生産組合との連携を含めて九千㎡の実績を挙げることが出来た他、森林整備部門でも順調に事業を展開した結果、事業総取扱高は当初計画比一〇一％となり、目標を達成することが出来まし

た。

令和二年度も、すでに三分の一が経過しておりますが、更なる事業の充実を図り、関係者各位のご期待に応えられるよう努力して参る所存です。

以上、誠に雑駁ですが皆様のご理解ご協力を重ねてお願い申し上げます。



第十九回

通常総代会開催

道の駅くらぶち小栗の里

多目的ホール

令和二年六月二十五日

総代会提出議案

○第一号議案

令和元度事業報告書、貸借対照表、損益計算書並びに剰余金処分案承認の件



- 第二号議案
令和二年度事業計画書承認の件
- 第三号議案
経費の賦課金額及び賦課金徴収時期決定の件
- 第四号議案
造林補助金取扱手数料率決定の件
- 第五号議案
一組合員に対する債務保証の最高限度決定の件
- 第六号議案
借入金 の 最高限度額決定の件
- 第七号議案
役員報酬決定の件
- 第八号議案
余剰金の預け入れ先金融機関決定の件
- 付帯決議
※全ての議案について、原案のとおり可決・承認されました。

令和元年度 決算の概要

1. 組合員及び出資金

組合員数 (人)	出 資 金	
	出資口数(口)	出資金総額(円)
1,823	513,713	51,371,300

2. 貸借対照表

資 産		負債・純資産	
科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
流 動 資 産	214,092,332	流 動 負 債	56,046,950
固 定 資 産	44,695,860	固 定 負 債	14,484,783
		出 資 金	51,371,300
		利 益 剰 余 金	133,230,876
		資 本 準 備 金	3,654,283
資 産 合 計	258,788,192	負債・純資産合計	258,788,192

3. 損益計算書

科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
事業総利益	77,184,667	法定準備金	1,800,000
事業利益	11,131,995	任意積立金	7,433,600
経常利益	11,205,439	次期繰越剰余金	11,848,899
特別損益	△1		
税引前当期純利益	11,205,438		
当期剰余金	8,916,338		
前期繰越剰余金	12,166,161		
当期末処分剰余金	21,082,499		

4. 剰余金処分案

今回の通常総代会は、新型コロナウイルス感染症の情勢を考慮し、規模を大幅に縮小しての開催とさせていただきます。

【主な対応】

- ・ 総代各位には、当日出席に代えて書面による議決権の行使を奨励いたしました。
- ・ 来賓はご招待いたしませんでした。
- ・ 会場を変更しました。
注) 議案書には変更前の会場が記載されています。
- ・ 開催時間の短縮に努めました。
- ・ 記念品は配布しませんでした。



総代会の様子

新役員紹介



代表理事組合長
副組合長理事
専務理事

市川 平治
齋藤 久夫

理事

塚本 博夫

理事

松本 博幸

理事

吉田 実

理事

木暮 一俊

理事

清水 孝

理事

中島 良晴

理事

塚越 泰雄

理事

飯島 由夫

理事

塚越 昇

理事

剣持 晴美

理事

清水 辰男

理事

原田 孝

代表監事

長壁 真樹

監事

後藤 孝

監事

退任役員紹介

任期満了に伴い、理事五名が退任されました。永年にわたり組合の発展にご尽力いただき、誠にありがとうございました。

前副組合長理事

清水 重信様

前専務理事

千明 誠様

前理事

小池 悦治様

前理事

塚越 透様

前理事

豊田 憲一様

事務局情報

☆職員の動向

一、新規採用

令和二年五月一日付

森林整備課

主任

塚越 忠勝（四十七歳）

出身地 高崎市



初心を忘れず、ケガをしない、させない、風通しの良い、作業環境を目指したい。

令和二年四月一日付

森林整備課

技師補

近藤 顕大（二十一歳）

出身地 東京都



仕事を早く覚え、怪我なく他の人の作業についていけるように頑張ろうと思います。

二、職員の昇任

令和二年四月一日付

事業課

課長補佐

宮田 直樹

管理課

係長

山本 康平

三、異動

令和二年四月一日付

課長補佐

高橋 哲平

事業課から集約化担当へ



総代紹介

(令和二年
六月二十五日現在)

高崎地域

加部 光造
岡田 利夫
須藤 欣司
川崎 清和
松本 博幸
浦野 正敏
今井 敏彦
静野 孝夫
(静野孝行外3)
竹内 佳晴
高橋 昇
群馬県護国神社
戸塚 條司
黒澤 千鶴
塚越 源夫
松井 照佳
榛名地域
入沢 和弘
清水啓志郎
大澤 清一
小山 弘
樋口 高則
中島 恒雄

萩原 謙二
中島 良晴
下五十一区長
築瀬 勝
中島 一彦
関 邦彦
清水 孝倫
湯本 隆一
清水 一雄
樋口 幸治
有坂 良治
伊藤 実
中山八千代
石井 義和
石井 博仁
清水 隆一
中二区長
小坂橋初美
鎌田 利男
長壁 和美
長壁 真樹
芹澤 優
清水 隆雄
清水五十二
佐藤 信二
芹澤 三好

芹沢 香
中島 忠文
柴山 定雄
柴山 敏男
齊藤 仁
佐藤 友彦
田島 勝三
加藤 慎吾
樋口 一雄
樋口 武
樋口亥子男
内田 育三
水多やよい
樋口 勝廣
三木カヅ工
小池 忍
長壁 寛一
橋爪 弘之
中山 利男
長壁 広規
加藤 房夫
原田 孝男
吉田 國男
園田 一孝
小山 宏
吉田 実
清水 孝
清水 喜好

多胡 義昶
柴山 幸男
柴山 典人
多胡 勇
多胡 勤
廣神 勝之
小池 信之
柴山 盛美
中曾根正吉
岡田 剛
多胡 孝
中曾根 茂
高橋 弘昌
齋藤 久夫
星田 良一
中里見富康
矢澤 康弘
中里見昇児
乾 宜夫
星田 美好
乾 邦明
富沢 和信
山木 一夫
富沢 登
中島 登
中曾根圭治
黛 勲
清水 信雄

萩原 静衛
清水 洋子
竹内 敏夫
中島 豊彦
富沢 優子
竹鼻 吉男
浜名 秀明
後閑 忠夫
飯野 正美
剣持 初男
清水 正美
清水 強雄
清水 真弓
清水 徹
高橋 正人
清水 良英
久保田秀夫
黛 均史
富岡 喬一
齋藤 直躬
(一財)榛名荘
倉淵地域
服部 静江
永井 茂治
上野 孝
戸塚 馨
野口 保幸

土屋洋一郎
土屋 庄司
上野 文夫
清水 潤一
戸塚 広美
伊勢川 聰
戸塚 精一
関 一
下田 保治
関 孝
春原 俊弘
(蓮華院)
戸塚 晶夫
戸塚 利雄
濱名美代子
塚越 映二
佐藤 安
浜名 眞行
武井 信之
桜井 明
塚越 庄治
塚越 徹
塚越 功之
原田 幸一
原田 克弘
佐藤 正
角岡 芳雄

村上 泰賢
(東善寺)
塚越竹次郎
(鳴石部分林組合)
塚越 基功
塚越 昇
塚越 徹
石井 松雄
石井 末一
石井 俊一郎
塚越 八郎
原田 章二
原田 実
住谷 光子
岡田 幸平
原田 昌一
塚越 末男
市川 雅彦
萩原 広一
小池 政一
矢野 勝
山田 時一
中沢 稔
箕郷地域
萩原テ儿子
永井 金一
永井 誠

生方 徳雄
生方啓一郎
生方 柳次
後藤 喜雄
剣持 薫
堀内 勝
小池 肇
山口 正美
清水 倭司
清水敬次郎
小川 妙子
青山智恵子
片平 祐子
吉田 秀敏
高橋 和博
石川 達
(宗教法人八幡宮)
内田 晴夫
安藤 啓一
後閑 正成
立見 清彦

※敬称略、
順不同



長い腕を伸ばして木をガッチリとつかむ

経験と勘がものを言う林業の現場ですが、機械化も着実に進んでいます。
組合では、すでに集材機「フオワード」(三台)、造材機「プロ

腕の長さにはダテじゃない

ロングリーチハーベスタを 導入しました

セッサ」(一台)、作業道開設のための機械「フェラーバンチャザウルスロボ」を導入し、これら高性能林業機械が活躍しています。

これらの機械を駆使し、昨年度は約九千m³の素材を生産。今年度は一万m³を目標としています。

今年二月、新たに「ロングリーチハーベスタ」が加わりました。この機械は、文字どおり長い腕を使い、機械から遠く離れた樹木をつかみ、伐倒、枝払い、玉切りまでを一台で行える優れたもので、現場での作業効率が大幅に向上しています。

伐倒できる木の最大径は十五cm、十メートルまで伸びるテレスコピックアームを備えています。

CLTをご存じですか？

PCR、SNS、CEOなど、世の中にはアルファベットの3文字言葉があふれかえています。漢字であれば多少省略されていても何となく意味がわかりますが、アルファベットではそうもいきません。そこで、あえて皆さんにお尋ねします。CLTはご存じですか？



群馬県初のCLT建築「榛名神社奉納額収蔵庫」

CLTの省略前のつづりは、Cross (クロス) laminated (ラミネーティッド) timber (ティンバー)。直訳すると、木材の繊維方向を直交させた集成材、日本語の呼称は「直交集成板」となります。

木材は火災に弱い、また強度も低く中高層建築の構造材には使えない。そんな固定概念を覆す木材、それがCLTです。

このCLTの発祥はオーストリアで、ヨーロッパではこのCLTでつくった高層建築が数多く建てられています。

わが国でも、政府が「CLTの普及に向けたロードマップ」を作成する等、普及を進めており、すでにホテル、校舎、オフィスビルなどが、このCLTを使って建築されています。

組合の管内では平成29年2月に竣工した榛名神社の奉納額収蔵庫が、このCLTでつくられています。



参拝客も驚く「矢立杉」の偉容

戦国時代（一五四三年）、甲斐の武田信玄が箕輪城を攻略する際、この矢立杉に矢を射り、戦勝を祈願したといわれています。

新連載

烏川流域の巨樹・巨木 Vol.1

榛名神社の矢立杉^{や たて すぎ}

～武田信玄が戦勝を祈願した大杉～

巨樹・巨木は、その地域の歴史とともに歩み、文化を育んできた地域の宝です。組合の管内にも多くの巨樹・巨木があります。今号から管内の木々を皆さんに紹介します。

榛名山町にある榛名神社は、創建から一四〇〇年以上の長い歴史を持つ神社です。岩山に囲まれた境内は、他に類を見ない荘厳なたたずまいを保っています。現在、国重要文化財の国祖社、額殿の大規模な修復工事が行われています。

昭和の喜劇王 榎本健一（エノケン）や、上毛かるた「沼田城下の…」の読み札で有名な旧新治村出身の江戸の豪商塩原太助の寄進した玉垣を眺めながら、榛名川沿いの長い参道をたどると手水屋（ちようずや）に到着。この手水屋の向かいに大きなスギが現れます。これが国の天然記念物「矢立杉」です。樹齢は約六百年、樹高は約五十五メートル、目通り幹周は九、七メートルもあります。

区分	形状	用途
A材	まっすぐな材	建築用材（柱など）
B材	やや曲りのある材・小径材	合板、建築用材（集成材）
C材	曲り材、林地残材	チップ、木質ボード、バイオマス燃料等

表：区分ごとの形状と用途



最近、木材取引の場面で、A材、B材などの言葉をよく目にします。

しばらく前までの原木の売買は、原木市場に集められた原木を、地域の製材業者等が、その用途に応じた末口径、長さ、品質により競り落とすというものでした。

しかし、最近では大口の製材業者等が、一定の基準を満たした原木を、定められた単価で大量に購入するというスタイルが主流になっています。渋川市にある渋川県産材センターもこのかたちを採っています。

この一定の基準で区分された原木を、A材、B材、C材という通称で呼んでいるものです。





長壁 泰夫さん 緑化功労 感謝状を授与 される

「今日の私は、明日の私の先生」が心の支え

本年六月、倉渚町三ノ倉の長壁泰夫さん（七十七）が、永年の森林整備の功績により、国土緑化推進機構理事長から感謝状を授与されました。

長壁さんは昭和十七年九月、旧榛名町上室田の生まれ。中学校卒業後、一年間ほど東京で働きましたが、環境が合わず故郷に戻ります。そんな中、実兄からの誘いを受け、旧倉渚村の製材会社で伐採や搬出に従事することになりました。

その当時の山仕事は、チェンソーもなく、伐採には鋸を、また搬出は木馬を使ったり、時には肩に担いだりという、とてもきつく危険な一面もありました。

しかし、まだ十代の長壁さんは「体も鍛えられるし、何といっても面白い」と山仕事を続けま

チェンソーを究める

その後、チェンソーが普及し、長壁さんも使い始めますが、チェンソーの性能が悪くまっすぐに切断できません。探求心旺盛な長壁さんは、仕事が終わった後、遅くまで会社に残り、チェンソーの目立てを究めます。その甲斐あって、長壁さんの伐採後の木の断面は、まるでカンナをかいたようにスベスベに。「名人」としての評価が高まります。

昭和四十八年には、請われて旧倉渚森林組合に入職。「今日の私は、明日の私の先生」の言葉を心の支えに管内の山林での造林、保育や伐採の作業に携わり、地域の豊かな森づくりに邁進してきました。

山のために体力づくり

仕事に対する真面目で前向きな姿勢が評価され、平成十三年の森林組合の合併時から、総班長として十数人の仲間を束ね、定年退職後も指導員として後進の指導を続けました。

二年前に森林組合を退きましたが、現在も市シルバー人材センターで、木の伐採などを続けています。

「山の仕事を続けるには、体力づくりが欠かせない」と、今でも毎日一万歩のウォーキングとダンベルを使つての筋トレを続けています。

根っからの「山人」長壁さん、これからもお元気で大好きな山仕事を究めてください。

素材価格の動向



スギの素材価格は、昭和五十五年をピークに下落してきました。

昭和六十二年から住宅需要を中心とする木材需要の増加によってわずかに上昇しましたが、平成三年からは下落し、今年のコロナ禍発生までは、横ばいで推移してきました。

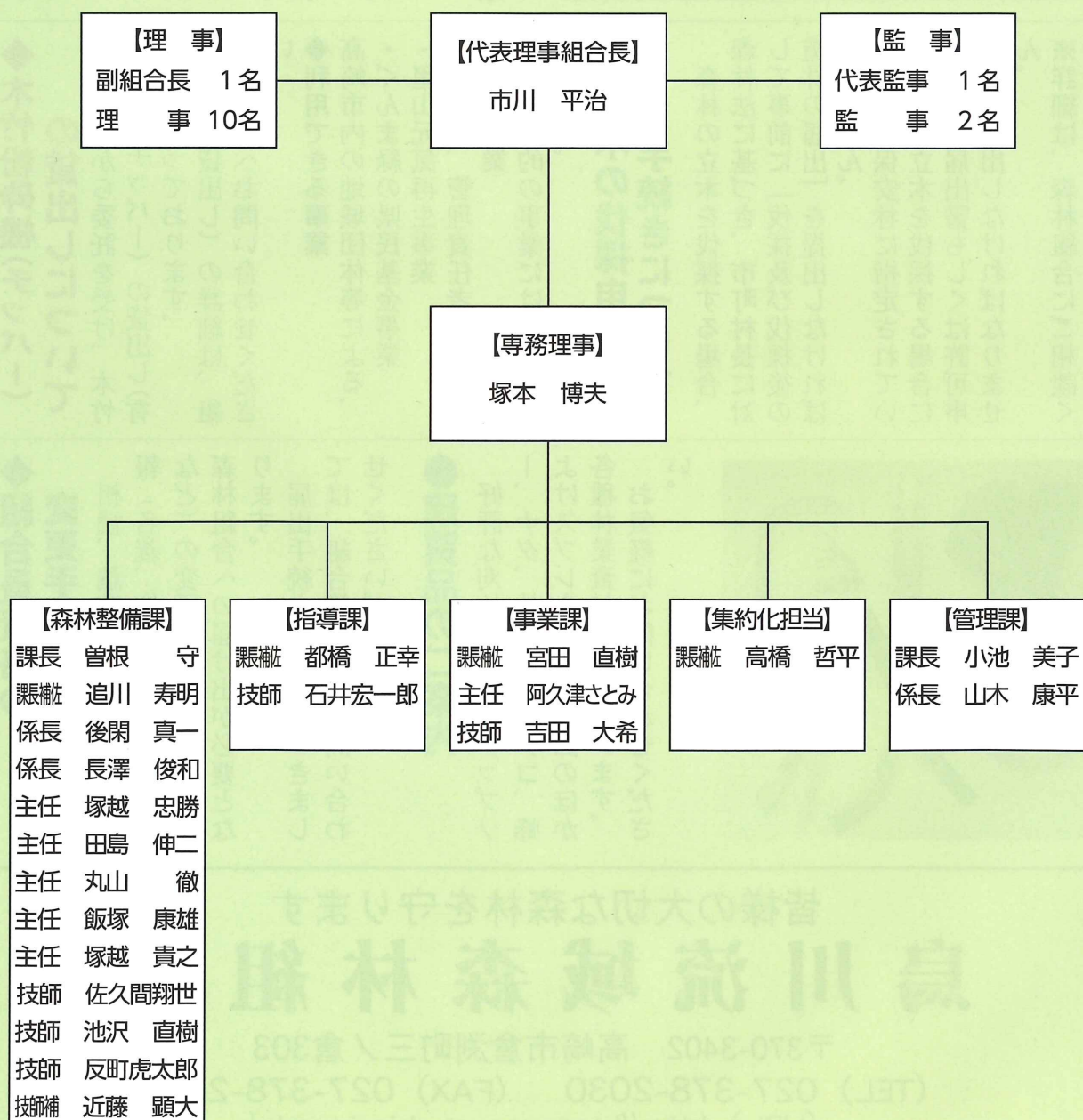
コロナ発生以後の経済の先行き不安のため、また、昨年十月の消費税の増税もあり、住宅着工戸数が減少し、素材価格も一割以上安くなっています。



令和二年二月六日に開催された、群馬林政推進協議会主催の「令和元年度林業功労者表彰」において、森林整備課の曾根守課長が長年の功績が称えられ表彰されました。

令和元年度
林業功労者表彰

令和2年度 組織体制図



森林組合からのお知らせ

苗木の注文を承ります

スギ、ヒノキ、カラマツ、コナラ等の苗木の注文を承ります。来春に植栽を予定している方は、お早めにご連絡下さい。ご連絡をいただいた方に、苗木価格が決まり次第、注文用紙を送付いたします（二月頃予定）。

なお、樹種によっては品薄のためご希望に沿えない場合もあります。

（注意） 今年度も地区連絡員による注文の取りまとめはありません。



◆木竹粉砕機（チップパー）の貸出しについて

高崎市から委託を受け、木竹粉砕機（チップパー）の貸出し（有料）を行っております。

利用（貸出し）の詳細は、組合事務所へお問い合わせください。

◆利用できる事業

- ・高崎市内の地域団体等による、ぐんま緑の県民基金事業
- ・里山元気再生事業
- ・その他、管理責任者が特に認める事業

※営利目的の事業には利用できません。

◆立木の伐採申請手続きについて

森林の立木を伐採する場合、森林法に基づき、市町村長に対して事前に「伐採及び伐採後の造林の届出」を提出しなければなりません。

また、保安林に指定されている区域の立木を伐採する場合には、必ず届出書もしくは許可申請書を提出しなければなりません。※詳細は、森林組合にご相談ください。

◆組合員資格の変更手続きについて

相続、譲渡等による組合員情報（名義、住所、所有森林面積など）の変更が生じた場合は、森林組合への届け出が必要となります。

届出手続きの詳細につきましては、組合管理課へお問い合わせください。

●購買品のご案内

好評な刈払機用超硬チップソー、ナタ、竹挽・剪定ノコ、蜂よけスプレー、熊よけ鈴のほか各種林業資材を扱っています。お気軽にお問い合わせください。



皆様の大切な森林を守ります 鳥川流域森林組合

〒370-3402 高崎市倉渕町三ノ倉303
(TEL) 027-378-2030 (FAX) 027-378-2305
(URL) <http://karasugawa-shinrin.or.jp/>